

令和8年度 第1回長野市公共施設適正化検討委員会 議事概要	
開催日時	令和8年5月15日（金） 15：15～16：50
場 所	長野市役所第二庁舎 10階 会議室201
出席者	<p>[委 員] 羽藤副委員長、青木委員、伊藤委員、久米委員、酒井委員、鈴木委員、宮下委員</p> <p>[事務局（公民連携推進局）] 返町総務部長、大塚局長、長谷川課長、市村課長、岡田補佐、池田係長、白澤係長、長谷部係長、佐藤主査</p>
議 事	<p>(1) 長野市公共施設等総合管理計画について</p> <p>(2) その他</p>

【次 第】

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ（副委員長）
- 3 諮 問
- 4 議 事

【審議事項】

- (1) 長野市公共施設等総合管理計画について
- (2) その他

- 5 閉 会

【開 会】

委員長あいさつ

〔代理 羽藤副委員長〕

【諮 問】

〔荻原市長から羽藤副委員長へ〕

議 事

(1) 長野市公共施設等総合管理計画について

〔資料について池田係長から説明〕

委 員 次期計画の構成について、おおむね良いが「第3章 市民意識のアンケート」は市民の意識の変化が確認できるため、可能であれば、今後もアンケートを行い、資料編に残した方がよい。

また、「資料編 地区別ワークショップ」については、重要な情報なので削除するのは少しもったいないと思う。なくなると違和感を覚える方もいるかもしれないし、ワークショップを受けて現在どのような状況になったのかを資料編に残しても良いと思う。

事務局 検討する。

委員 縮減目標の考え方について、長野市はオリンピック施設があり、他の市と状況が違う面もあるため、オリンピック施設を除いて目標を設定するという考え方もあるのではないかと思います。

また、縮減目標はいつ設定され、いつからいつまでの20年間か教えてほしい。全国平均と比較するのであれば、最近の延床面積で比較する必要があると思う。

事務局 オリンピック施設は6施設あり、延床面積は合計で約15万㎡。公共施設全体の約1割である。

総合管理計画が策定されたのは平成29年3月であり、目標期間はそこから20年と考えていただきたい。

委員 そもそもこの目標設定が正しいのか。全国平均と比べることが正しいのか。議論の余地があると思う。

事務局 中核市62市のうち、約3分の2は同じように面積縮減を掲げているが、縮減目標は様々である。なお、20%の縮減目標に掲げている市は10程度である。中には、40%の縮減目標を設定している市もある。

委員 全国平均との比較も、取組を進めていく上での一つの原動力になると思う。厳しい財政状況を考えると一定程度の目標を定めて動かしていく考え方も必要である。

また、市町村合併といった要素も、目標設定に加味する必要があるのではないかと思います。

委員 現計画を下方修正せずに20%を維持する方針は良いと思う。目的は面積ではなくコスト縮減であり、現状2%しか面積縮減されていないが、実際には用途廃止されていてコストがかかっていない施設があるのであれば、その現状を住民に説明することも必要。

計画の構成の話に戻るが、第7章に民間活力の導入について掲載されているので、第7章を削除するのであれば、別のところに民間活用について盛り込んでもらいたい。

スライド13「データを活用し、市民が具体的にイメージできる見せ方」の例で、家計簿だと収支状況が悪いから施設をなくすという話になってしまうので、コストよりインカム（収入）があるから、結果的に支出を抑えて施設を維持しているという見せ方が必要だと思う。

施設予約について、社会体育館は予約システムで申込できるが、学校の体育館は窓口申込であるため、予約システムにできないかと思う。また、社会体育館もすべて無料ではなく、使用料を払う仕組みがあっても良いのではないか。

例えば、お金を払ってでも固定した活動場所やスケジュールを確保したい青少年団体などのクラブが多いと思うので、社会体育館を民間が運営することで、固定した活動場所を押さえる代わりに、団体から使用料を払ってもらうという方法も良いかと思う。

住民理解について、施設を廃止する際には他の方法で行政サービスを維持していくことなどを職員が利用者に丁寧に説明する必要がある。

事務局 行政ですべての施設を管理・運営するのではなく、民間の力を活用しながら、税収を上げるような考え方も今後必要になってくる。また、庁内での認識についても変えていく必要があると感じている。

- 委員 立地適正化計画などにある居住誘導区域（居住を推進している地域）内の施設は、重要度が増してくる。
- 一方で、それ以外の地域に、公共施設を配置して行政がサービスを提供していくことは、お金をかけ続けることになるので簡単ではない。その中で、基本的な行政サービスの抜けがあってはいけないが、公共施設が無くても民間施設を代用するなど、同じ行政サービスが提供できていれば、それはそれで良いのではないかと思う。
- 事務局 補足として、社会体育館、公民館、一部の学校についても予約システムを利用している。また、公共施設の活用については職員の意識や発想を変えることもある程度必要になってくると思われる。
- 委員 職員の意識改革は基本方針の4にも書いてあるが、職員はできない理由については調べてくれるが、そうではなく、学校の空き教室が一般に使用できるなど、もう少し柔軟に対応しても良いかと思う。
- 事務局 第7章は削除する方向で考えているが、民間活力の導入については、第4章の基本方針に記載があるので、その中で内容を充実させたいと思う。
- 委員 デジタル技術の活用は当然必要だと思う。社会動向の変化への対応についても、太陽光発電などの新しい技術を使い、コストを縮減するなど、時代に対応していく必要がある。
- 長寿命化については、安全性の確保が重要。古いのが悪いのではなく、一層古くなれば資産価値も増す場合もあるわけで、安全性や利便性が確保されていれば、それはそれでよい。
- 事務局 太陽光発電含めて脱炭素化については、市でも重要と考えているので、どの程度記載できるか検討したい。
- 委員 長寿命化改修の在り方で、20年間使い続けるというのが引っかかってしまう。現在の利用者層はどの年代が多いのか。そして、その年代の次の世代が本当に使いたいと思っているのか。20、30年の間に使われなくなってしまっても困るので、職員は利用者などと良くコミュニケーションを取ってほしい。また、若い職員の意見も取り入れてほしい。子どもが使える施設、若い人が使える施設が増えないと、今改修したところで意味がない。市民の声は聞いてほしいのでアンケートも重要ではないか。
- データを活用し、市民が具体的にイメージできる見せ方の例で、家計簿でなくても良いが、分かりやすい見せ方は必要。みなし縮減も良い考えだと思うが、用途廃止後、建物を何年も壊さないまましていると市民の不信感に繋がる原因にもなるかもしれない。
- 事務局 清泉大学と連携事業を行っているので、学生や市民の声を聴きながら、より分かりやすい見せ方も検討していきたい。例えばDXの分野では、市役所内でDX推進リーダーなどを選任して若手の意見を取り入れてもいるので、そのような意見も大切にしたい。また、市民に分かりやすい資料作成も大切だと考えている。
- 若手職員の意見について、希望者を募ってワーキンググループなどを行っているが、なかなかうまく意見を吸い上げられていない点もあるので、引き続き工夫していきたい。
- 委員 ワーキンググループ形式は、なかなか意見が言い出しにくい。言える人は良いが言えない人も中にはいる。普通の会話の中からアイデアなどが出てくると思うので、それを

吸い上げていくような環境があれば良いと思う。

委員 市民アンケートについて、なかなか難しい部分もあるかと思う。インタビュー形式は意外と意見を吸い上げられる。特に問題意識を持っている方にインタビューをすると、より具体的に良い意見が吸い上げられると思う。

委員 総合計画は小中学生にアンケートを配布して回答してもらっている。公共施設マネジメントについて、小中学生にアンケートを取るのは現実的ではないが、将来のある人たちの声を聞く必要があると思う。

委員 公共施設マネジメントは難しい内容なので、意見の吸い上げ方の工夫が必要。

委員 計画に必要な基本方針を入れることで、公共施設マネジメントの取組がしやすくなる必要がある。公共施設の宣伝をしようと考えているのであれば、基本方針のどこかに入れても良いと思う。

確認であるが、基本方針の1から4は変えないのか。組み換えなどするのか。どちらにしろ、このあとの取組がしやすいようにするのが良い。

事務局 基本的には今の基本方針の形をアップデートする方針である。

委員 社会動向の変化について、少子化、高齢化、デジタル化、団塊の世代、外国人など、マイナス面ではなくどのように生かしていくか。縦割り行政の柔軟性も必要。

最近、学校建築の中で一つの教室を色々な用途に使えるといった重ね使いが良く言われているが、そのような考え方も必要なのではと思う。

事務局 今ある施設をいかに有効に使うかについては、必要な視点であるので、職員の意識改革と合わせて検討していく。

委員 社会動向の変化への対応等だが、公共はすべて行政だけで賄うものでもない。民間との連携の流れをどのように活用するかも大切である。行政は自分の役割をこなすことも大事ではあるが、それだけではなく、様々な地域の資源とどう結びついていくかなど、民間活用にチャレンジしてみる価値はあると思う。

副委員長 色々な意見が出たが、事務局の方で計画に反映できる点については、検討してもらいたい。

(2) その他

〔今後のスケジュールについて池田係長から説明〕

事務局 次回は令和8年9月1日（火）午後2時を予定している。

【閉 会】